

グラフで見る統計あつぎ

－ 令和5年版 －

統計あつぎを、
グラフで見やすく
しました！

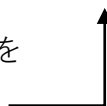


この資料の見方

(例) 1 行政区画・土地・気象

■都市計画区域の割合及び地目別土地利用状況(5)

統計あつぎ4頁「5 地目別土地利用状況」を
基に作成しています。



— 目次 —

あつぎの概要

行政区画・土地・気象

- 都市計画区域の割合及び地目別土地利用状況・・・3
- 月別平均気温と降雨量（令和5年中）・・・3

人口

- 人口と世帯数の推移・・・4
- 外国人住民登録者数の推移等・・・4
- 人口動態（社会動態）の年次別推移・・・5
- 人口動態（社会動態）の月別推移（令和5年中）・・・5
- 人口動態（自然動態）の年次別推移・・・6
- 人口動態（自然動態）の月別推移（令和5年中）・・・6
- 年齢別各歳人口の推移（県年齢別人口統計調査）・・・7

事業所

- 事業所数及び従業者数の推移・・・8
- 従業者規模別事業所数・・・8
- 産業大分類別事業所数（令和3年6月1日現在）・・・9
- 産業大分類別従業者数規模別事業所数（市内シェア上位5分類）・・・9

工業

- 従業者規模別事業所数の推移・・・10
- 従業者規模別従業者数の推移・・・10

商業・観光・金融

- 業態別事業所数、従業者数及び年間販売額・・・11
- 観光客数及び消費額・・・12

農林業

- 地区別農業経営体数・・・13

交通・通信

- 市内鉄道利用状況の推移(本厚木駅・愛甲石田駅)・・・13
- 高速道路インターチェンジ利用状況の推移・・・14

教育・文化・宗教

- 幼稚園の幼児数、小学校児童数、中学校生徒数の推移・・・15

治安・災害

- 火災発生件数、交通事故発生件数・・・16

特集 厚木市と施行時特例市及び海老名市との比較

- 人口の推移・・・17
- 人口動態・・・17
- 事業所及び従業者数・・・18
- 昼間人口・・・18

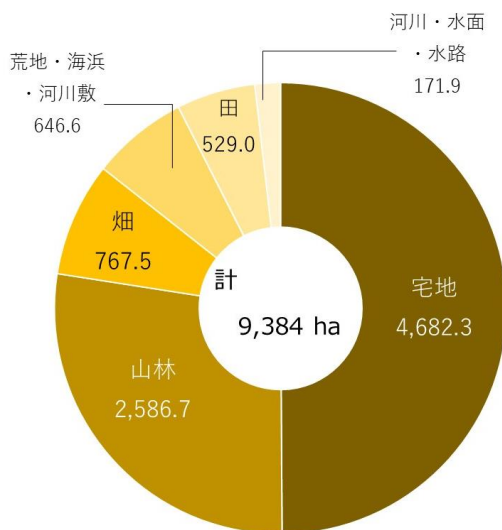
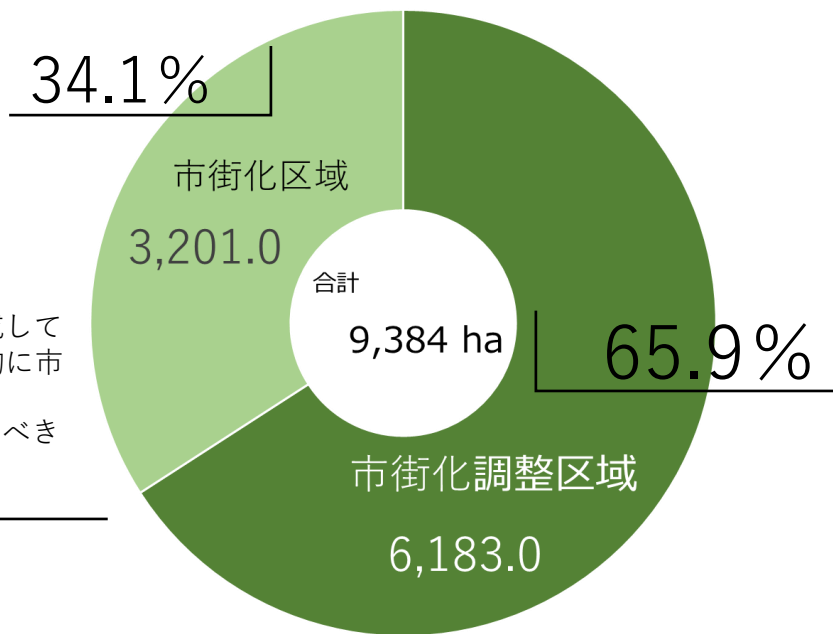
1 行政区画・土地・気象

■都市計画区域の割合及び地目別土地利用状況(5)

都市計画区域

市街化区域とは、すでに市街地を形成している区域及びおおむね10年以内に優先的に市街化を進めるべき区域を指します。

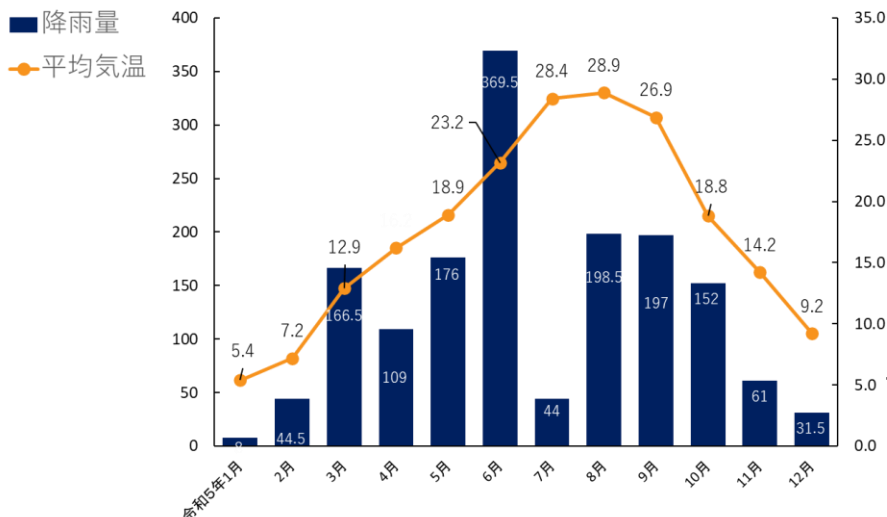
市街化調整区域とは、市街化を抑制すべき区域を指します。



地目別土地利用状況

市全体の面積に対して**宅地が約5割**を占めています。

■月別平均気温と降雨量(令和5年中)(8)



7月17日に最高気温37.0℃、1月26日に最低気温-4.8℃を記録しました。

令和5年は直近5年間で平均気温は最も高くなり、降雨量は最も少なくなりました。

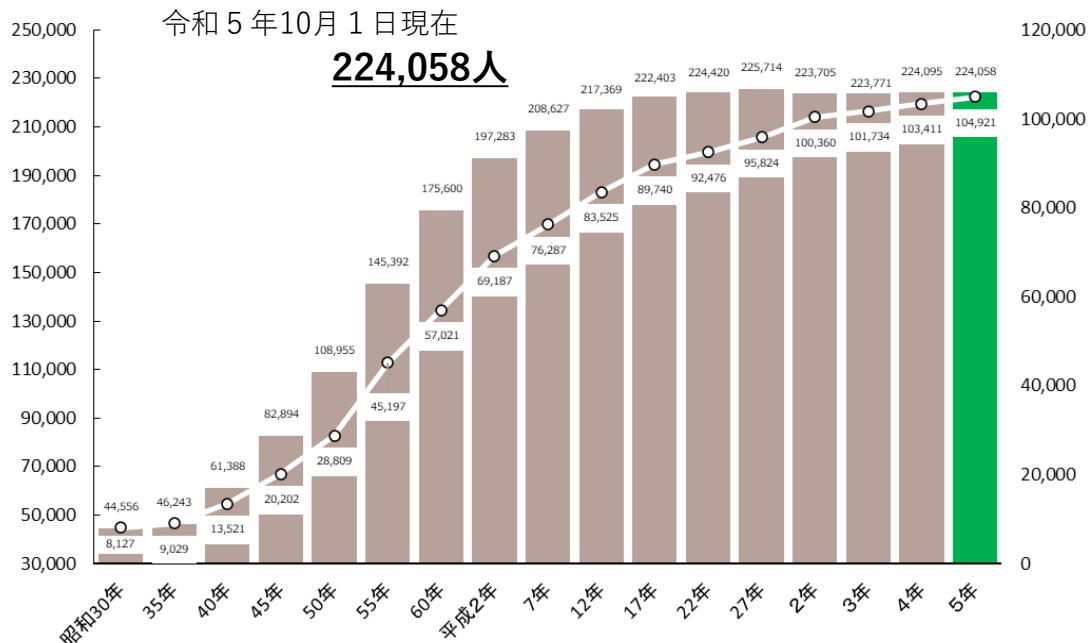
2 人口

■人口と世帯数の推移(9)

昭和30年～令和5年

■ 人口（総数）

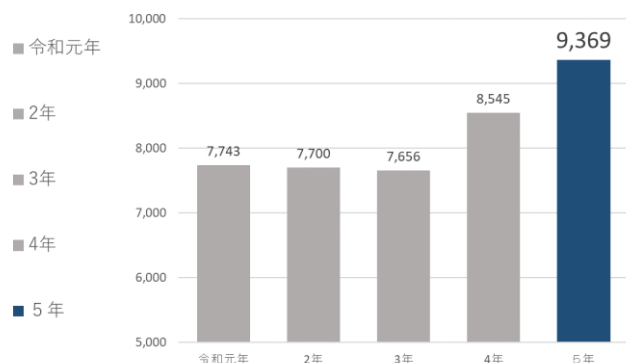
○ 世帯数



平成22年以降は22万人台半ばで推移している。

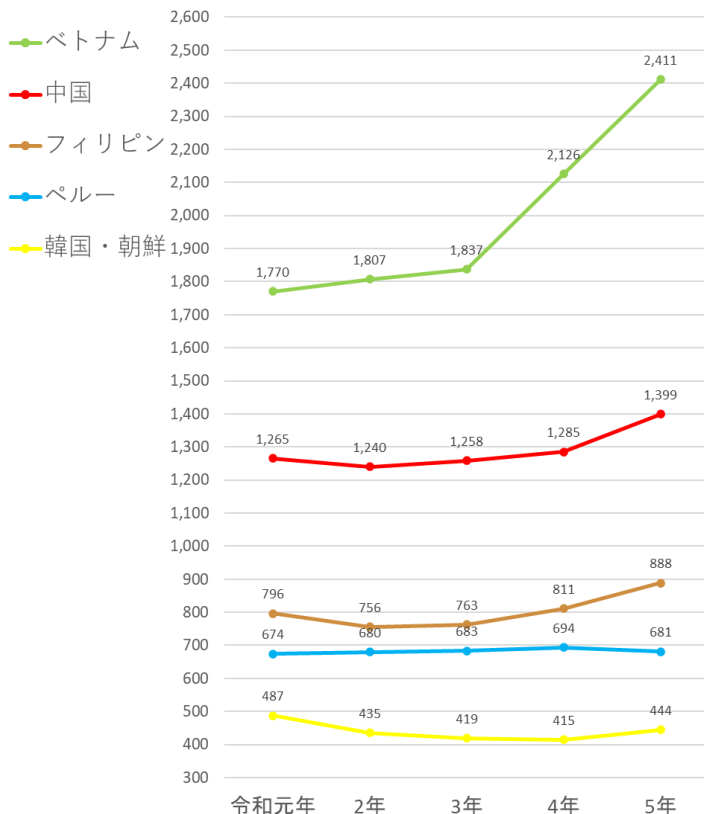
■外国人住民登録者数の推移等(11)

外国人住民登録者数の年次推移

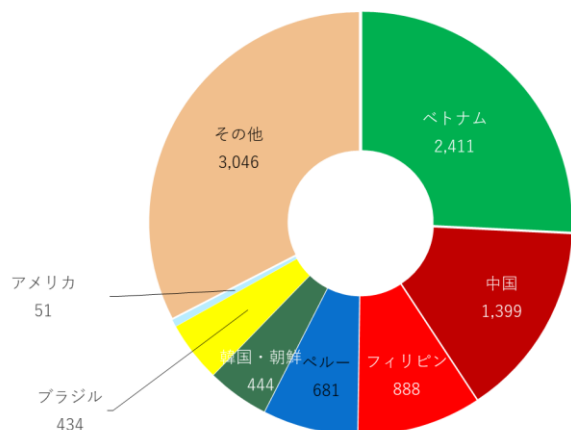


コロナ収束とともに外国人人口が増加傾向にある（厚木市は県内自治体で4番目に多い）。

外国人住民登録者数国籍別の推移



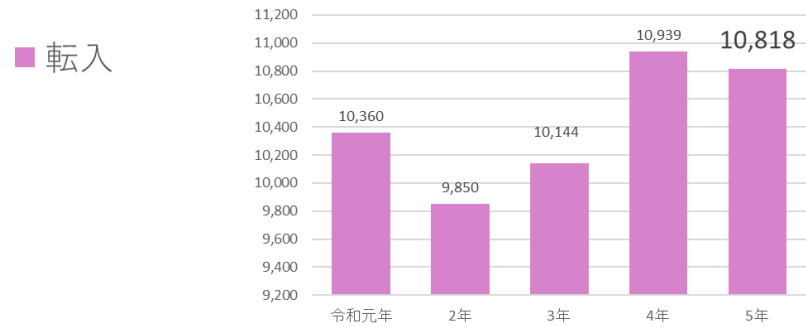
令和5年外国人住民登録者国籍別の割合



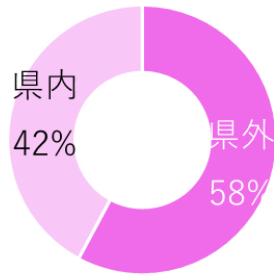
特に、ベトナム人が増加傾向にあります。

■人口動態(社会動態)の年次別推移(17)

転入者数の推移



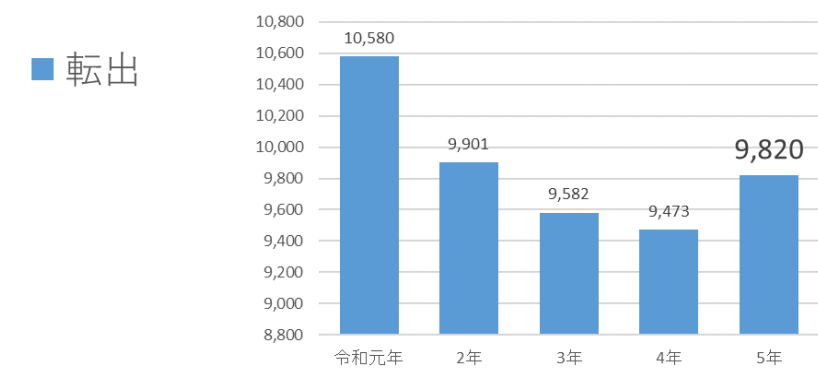
令和5年中の転入者数の県内外割合



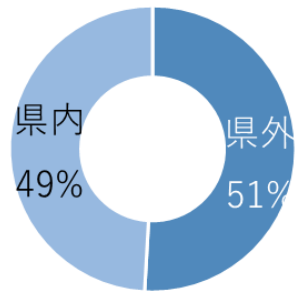
転入者が転出者を上回る**転入超過**となりました。

転入者数－転出者数＝**プラス998人**

転出者数の推移

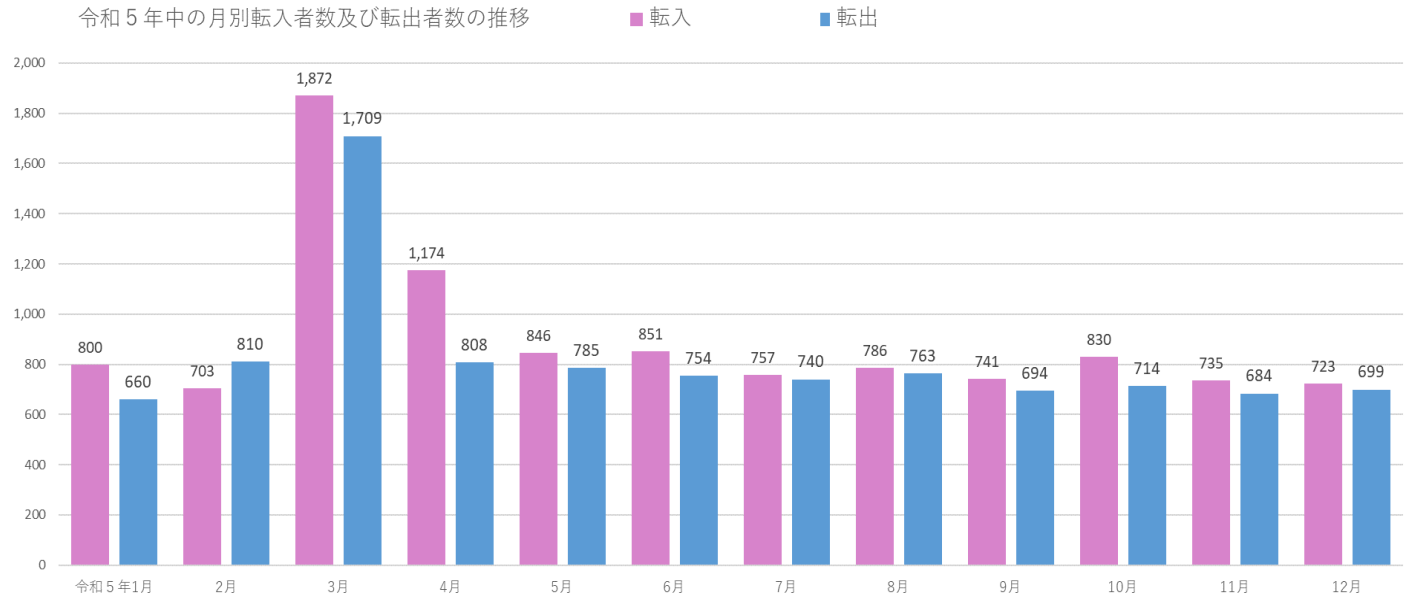


令和5年中の転出者数の県内外割合



■人口動態(社会動態)の月別推移(令和5年中)(17)

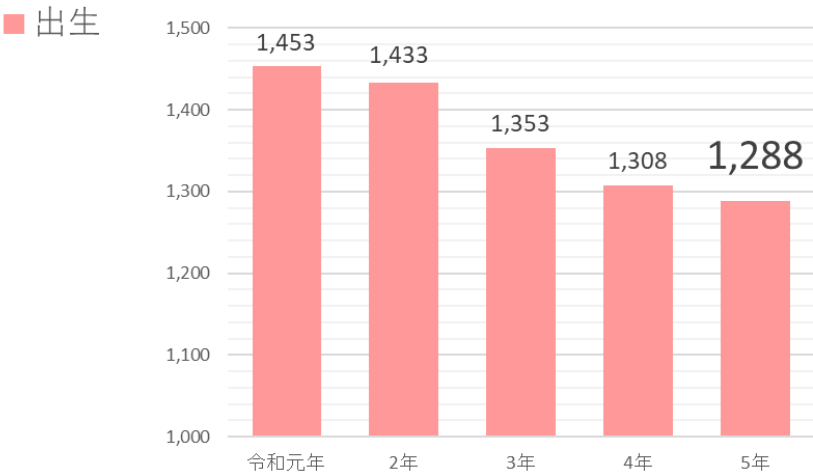
令和5年中の月別転入者数及び転出者数の推移



月平均1,720人の人口異動が発生しています。

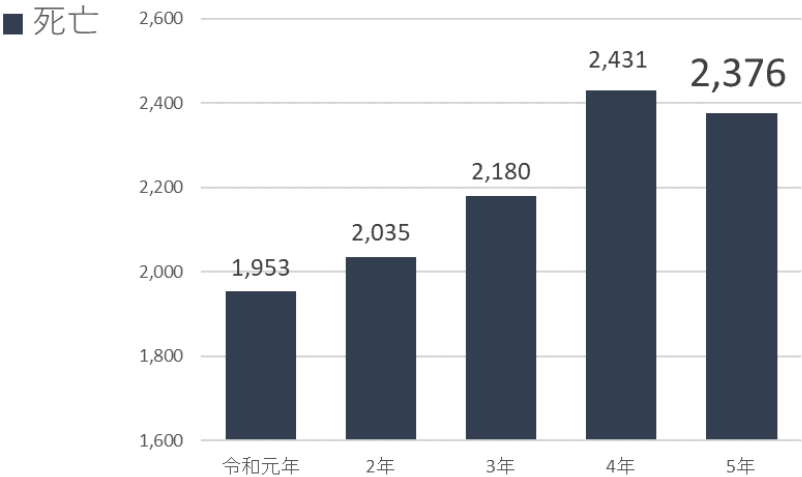
■人口動態(自然動態)の年次別推移(17)

出生者数の推移



出生者数より死亡者数が上回る**死亡超過**となっています。

死亡者数の推移



出生者数

—

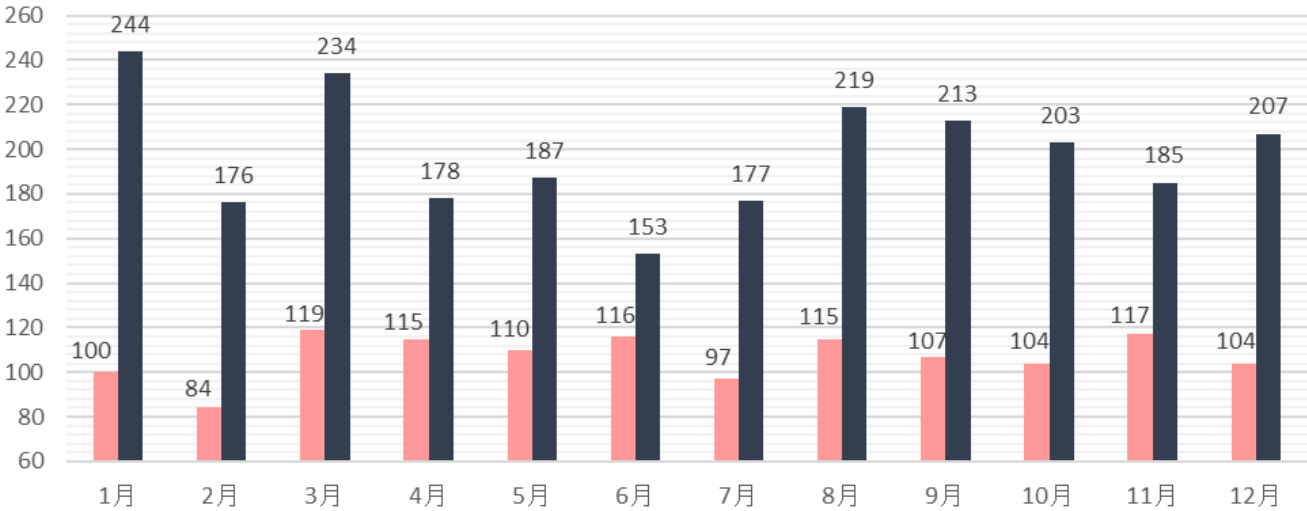
死亡者数

=

△1,088人

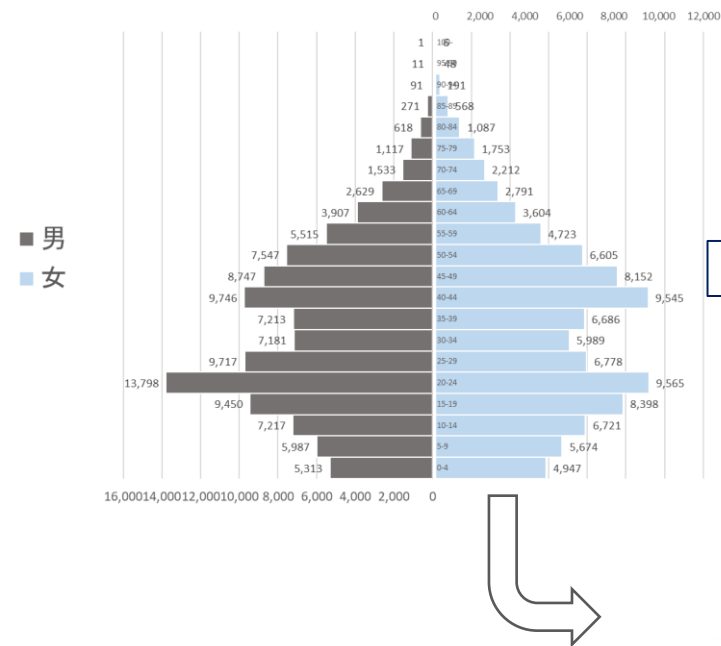
■人口動態(自然動態)の月別推移(令和5年中)(17)

人口動態(自然動態)の月別推移(令和5年中) ■出生 ■死亡
(単位 件)

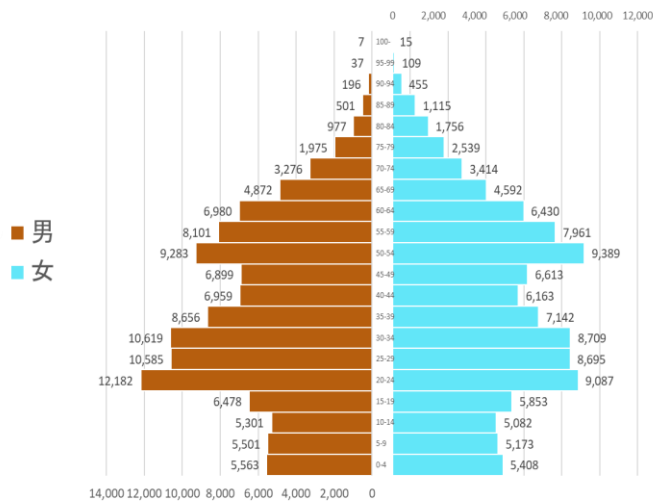


■年齢別各歳別人口の推移(県年齢別人口統計調査)(19)

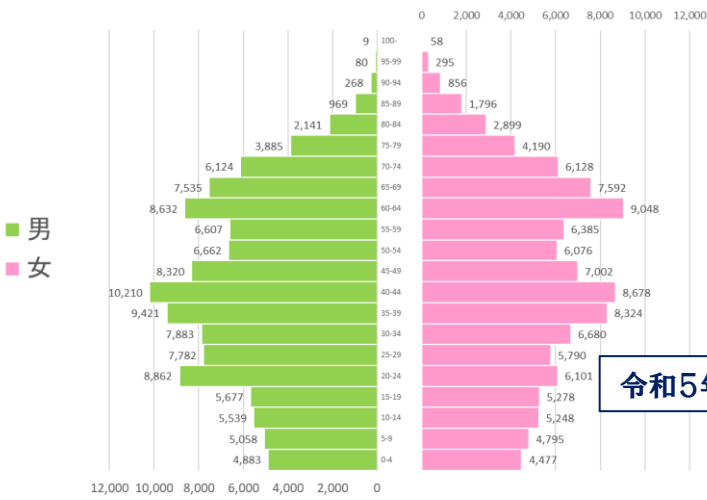
平成5年1月1日現在



平成15年1月1日現在



平成25年1月1日現在



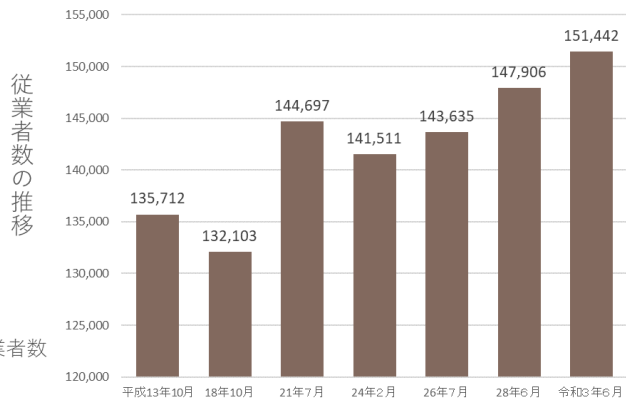
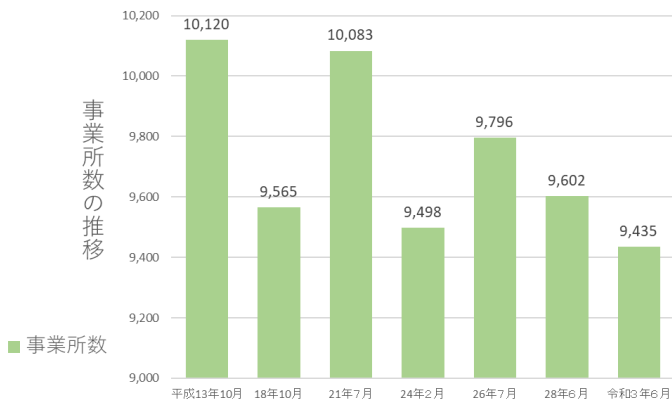
令和5年1月1日現在



各年で最も高い割合を占めている年代は、平成5年、15年は20-24歳、平成25年は40-44歳、令和5年では50-54歳と推移しています。
グラフの形状がピラミッド型からつぼ型に変化していることがわかります。

3 事業所

■事業所数及び従業者数の推移(29)

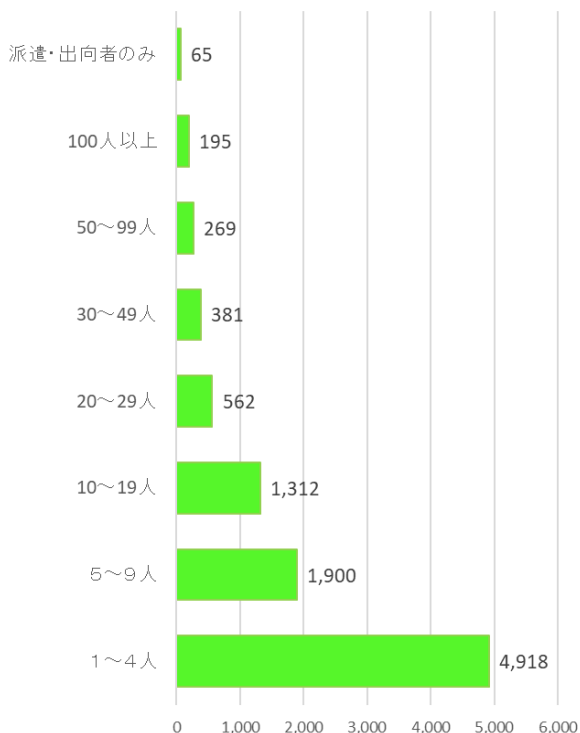


事業所数は減少している一方で、従業者数は増加しています。

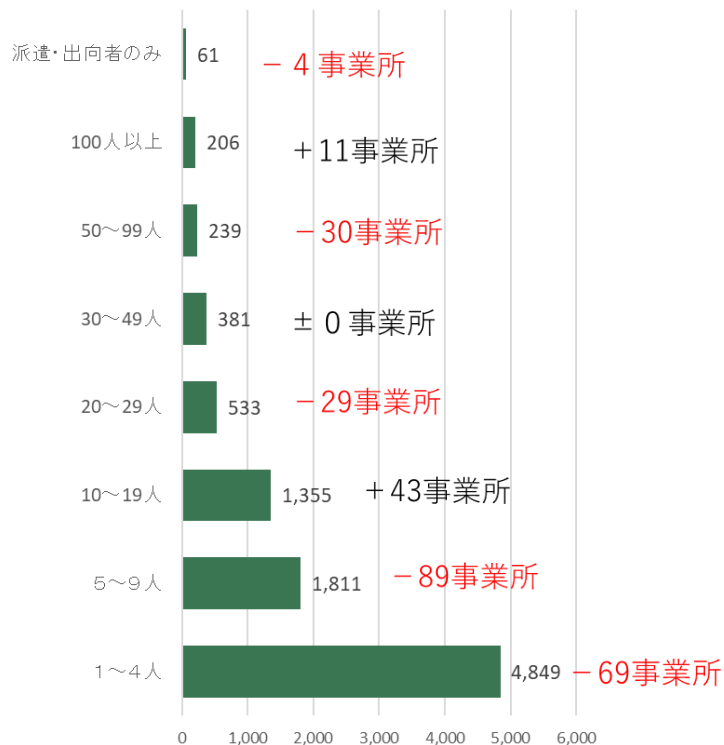
下記グラフも併せて見ると、従業者規模の大きい事業所が増加していることがわかります。

■従業者規模別事業所数(32)

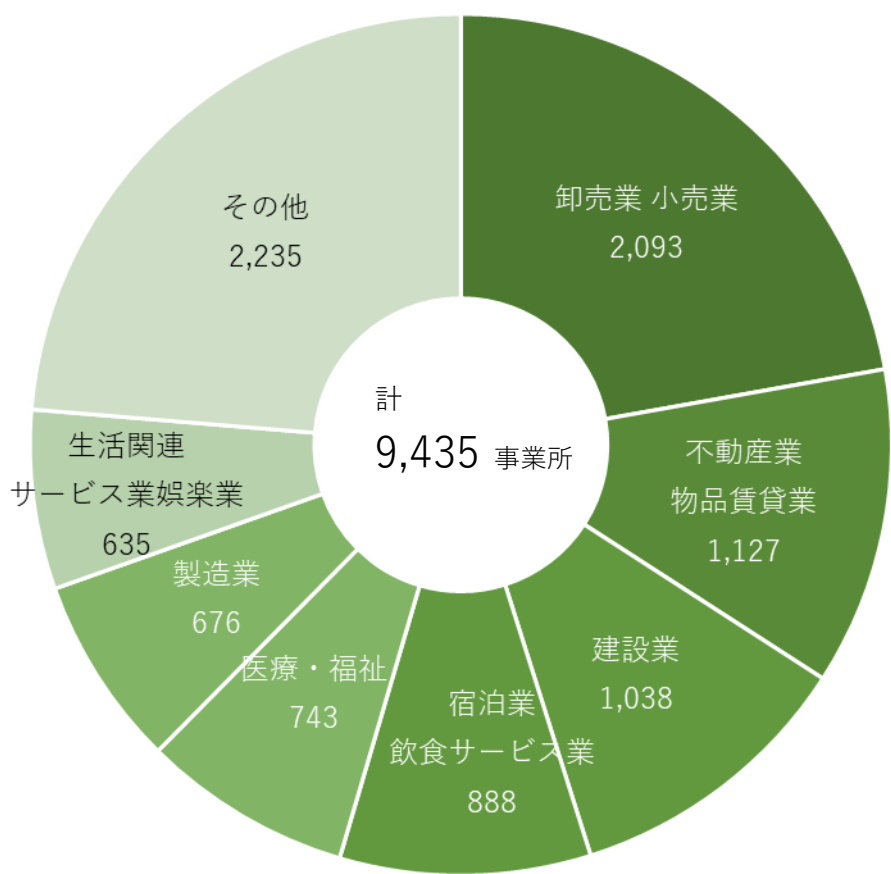
平成28年



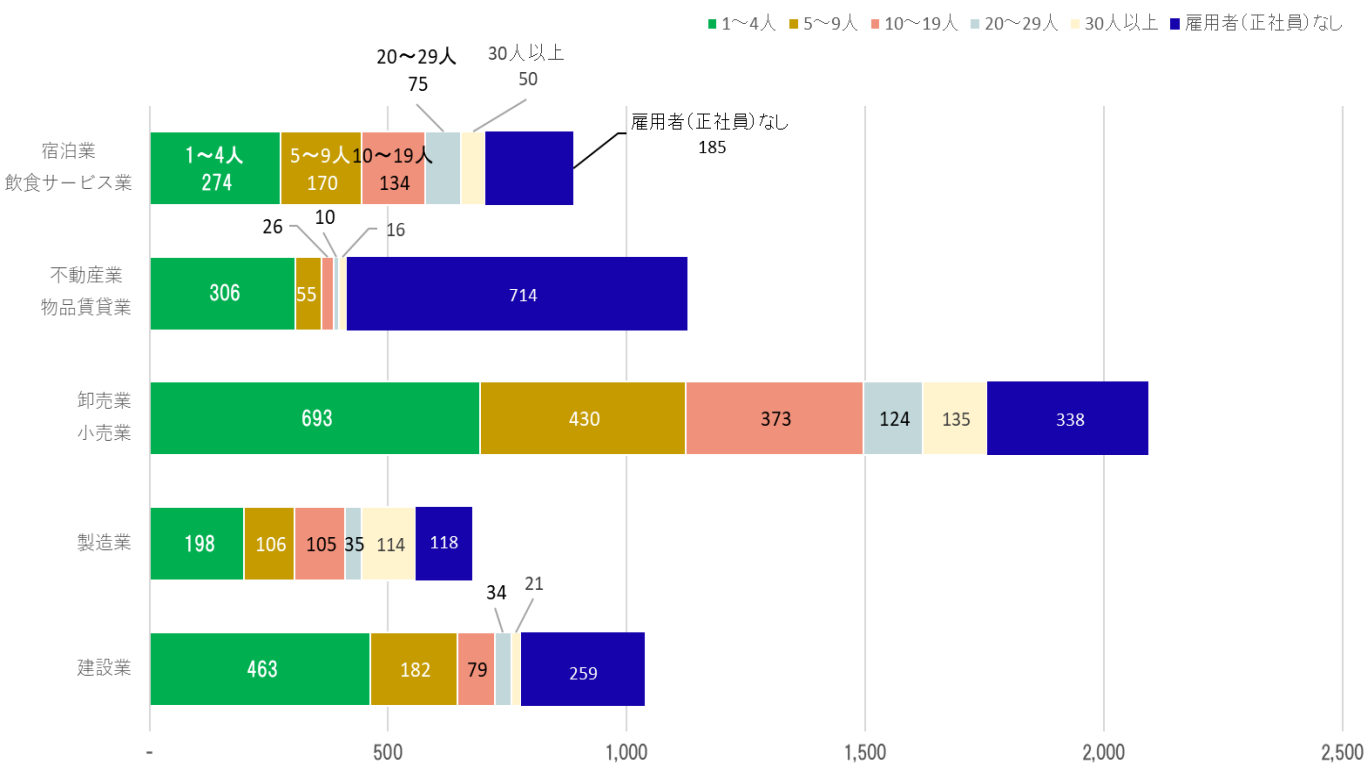
令和3年



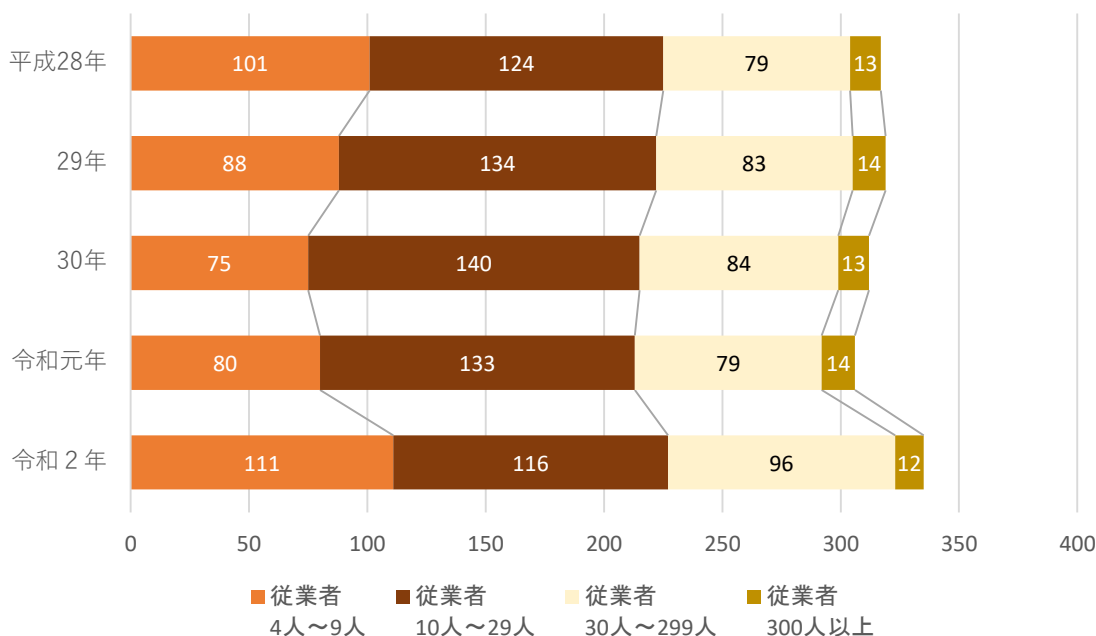
産業大分類別事業所数(令和3年6月1日現在)(31)



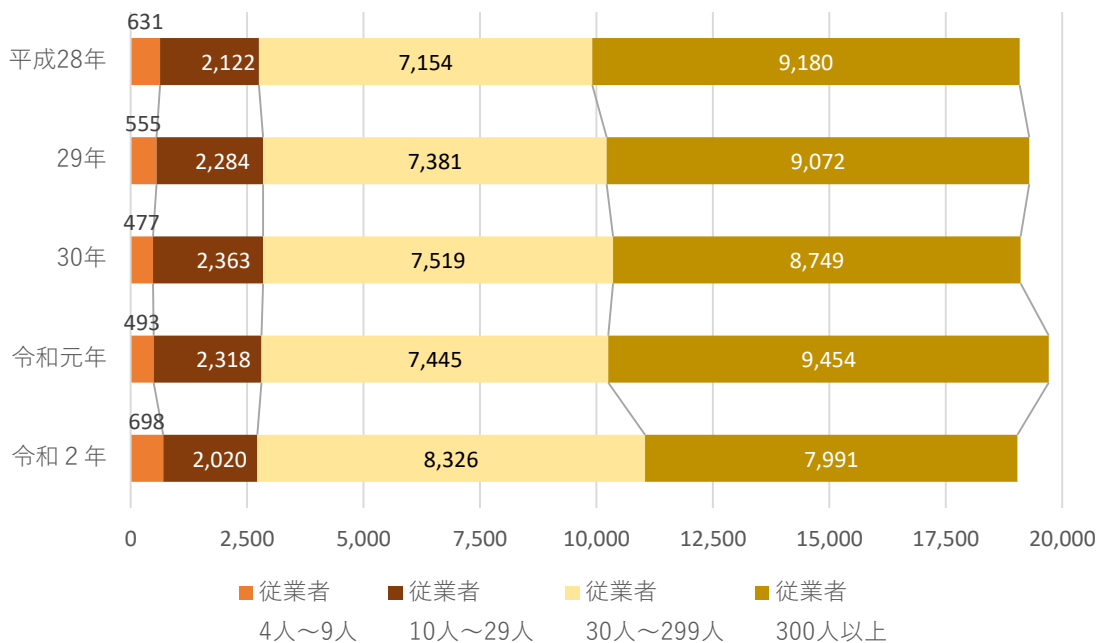
産業大分類別従業者数規模別事業所数(市内シェア上位5分類)(32)



■従業員規模別事業所数の推移(35)



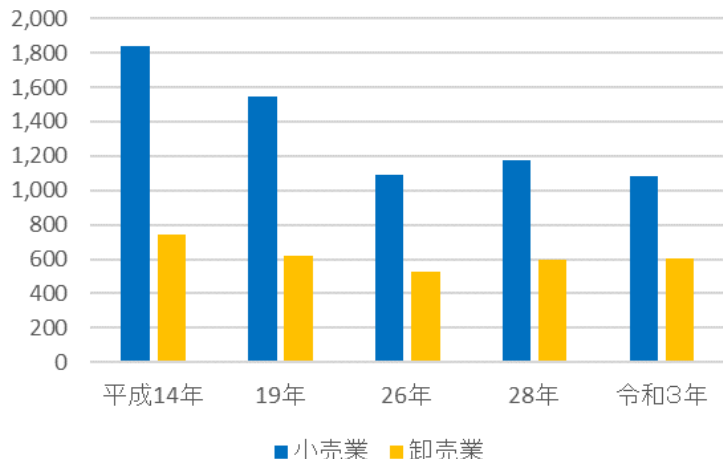
■従業員規模別従業員数の推移(36)



令和2年の製造業は企業数が増加し、従業員数は減少しました。
特に、従業員300人未満の事業所では事業所数、従業員数ともに増加した一方、
従業員300人以上の事業所ではともに減少となりました。

業態別事業所数、従業者数及び年間販売額(46)

事業所数の推移

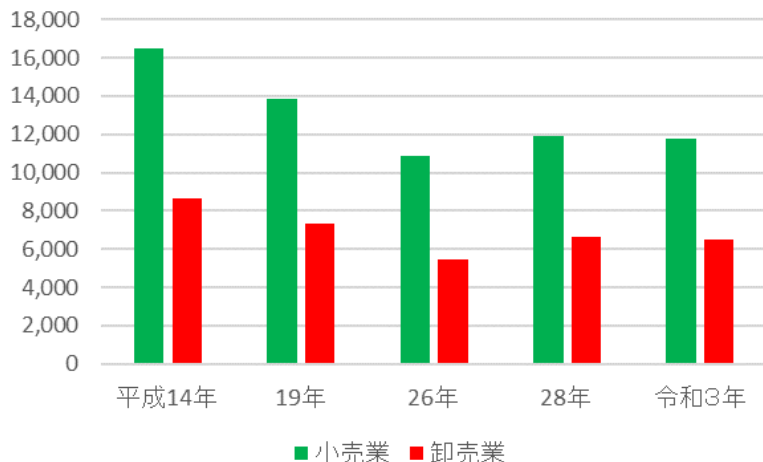


小売業の事業所数は減少傾向にあるのに対し、卸売業は横ばいで推移しています。



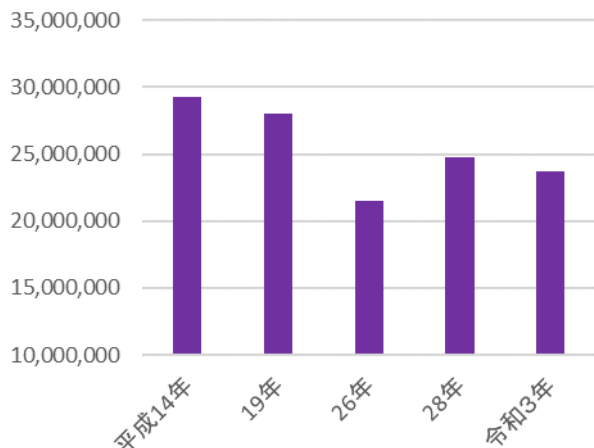
小売業の事業所数(店舗数)と売り上げは比例関係にあります。

従業者数の推移

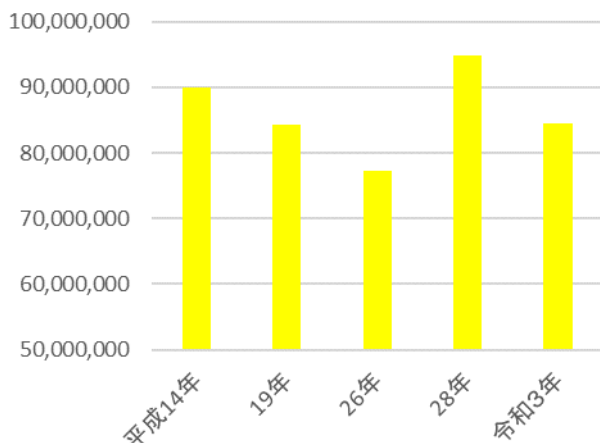


小売業の従業者数は減少傾向にあるのに対し、卸売業は横ばいで推移しています。

年間販売額(小売業)



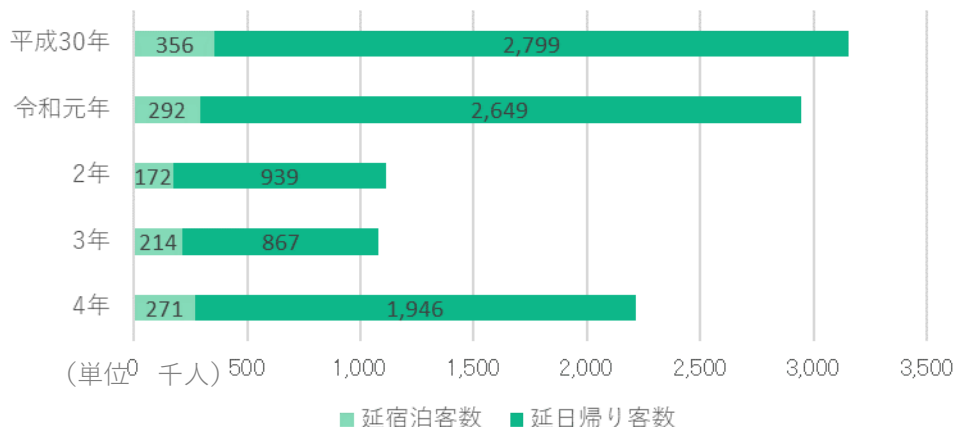
年間販売額(卸売業)



小売業は店舗数の減少とともに販売額が減少傾向にありますが、卸売業は平成28年が最高値となっています。

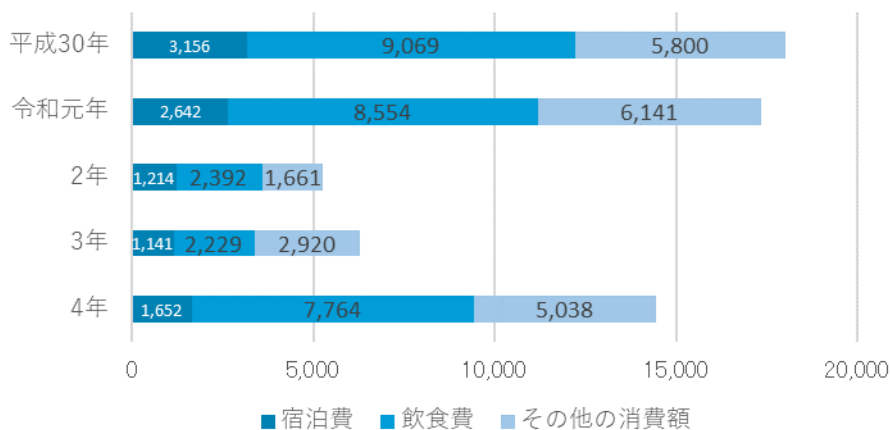
■観光客数及び消費額(53)

観光客数の推移



新型コロナウイルス感染症の影響で落ち込んでいた観光客数は、以前の水準までは届かないものの、回復傾向となっています。

観光客消費額の推移



観光客数と同様に新型コロナウイルス感染症の影響から落ち込んでいた観光客消費額も以前の水準までは届かないものの、回復傾向となっています。

1人当たりの消費額

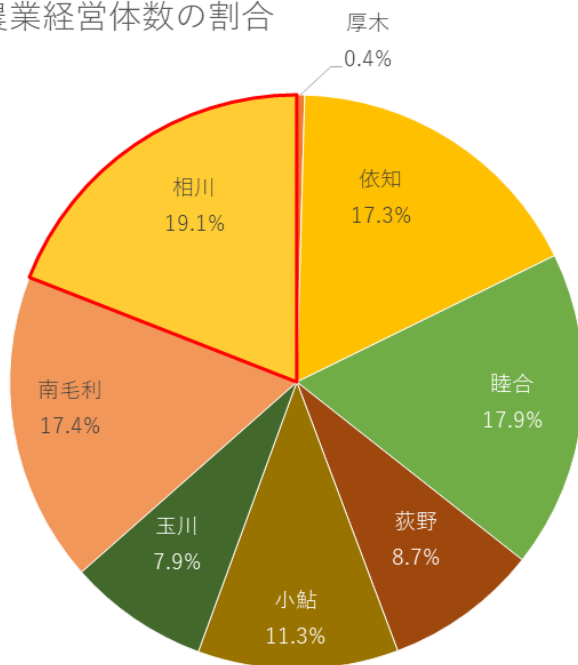


1人当たりの消費額は、令和3年から上昇傾向にあり、令和4年は新型コロナウイルス感染症流行前の水準を超えました。

6 農林業

■地区別農業経営体数(61)

地区別農業経営体数の割合



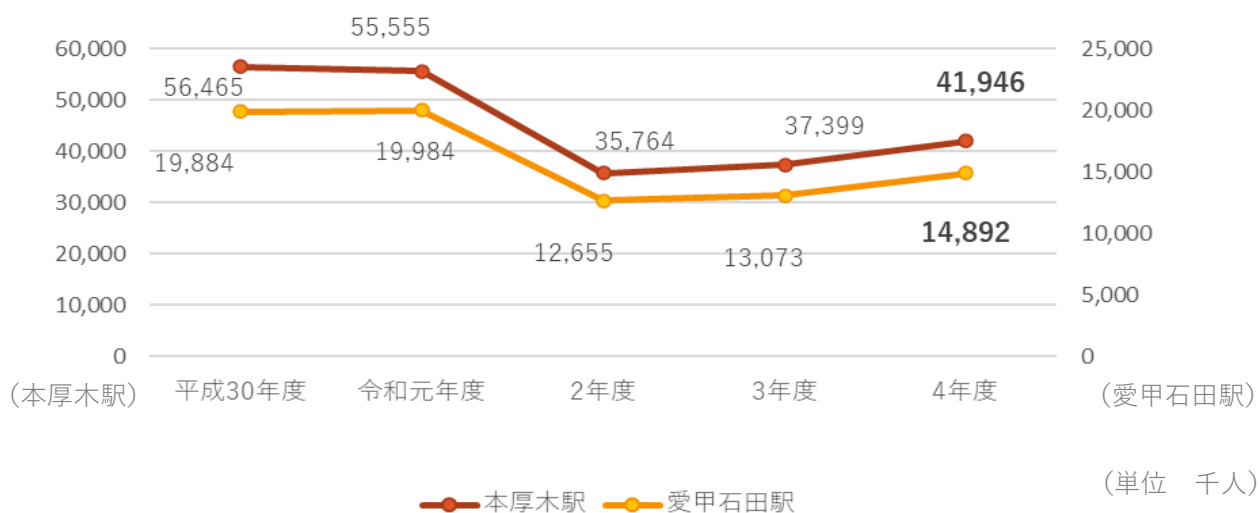
市内で農業経営体数が
最も多いのは相川地区です。

農業経営体：経営耕地面積が30a以上
事業の規模が各基準以上又は農作業の受託の事業を行う者

8 交通・通信

■市内鉄道利用状況の推移(本厚木駅・愛甲石田駅)(78)

各駅乗降者数の推移

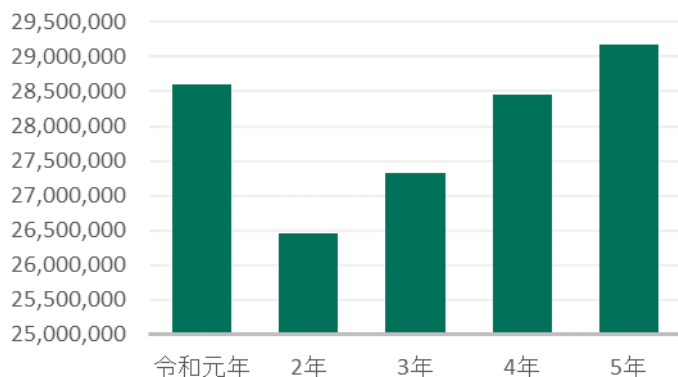


乗降者数は、新型コロナウイルス感染症の影響により下落していましたが回復傾向にあります。

■高速道路インターチェンジ利用状況の推移(85)

年度別利用状況

インターチェンジ利用状況は令和2年に新型コロナウイルス感染症の影響から、大きく下落しましたがその後は回復傾向にあります。



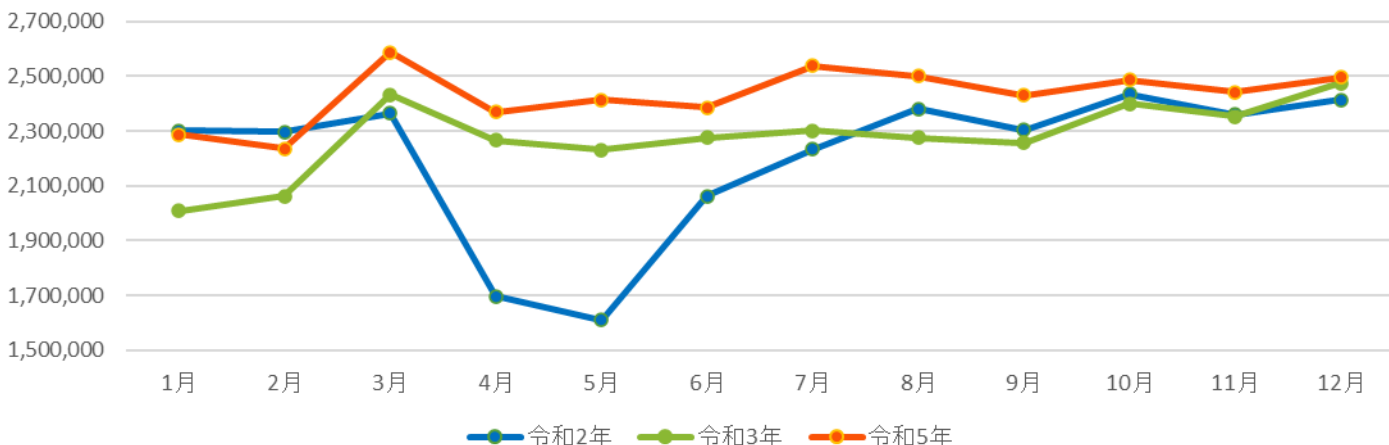
インター別利用割合推移



圏央厚木PAスマートインター
令和2年9月26日開通

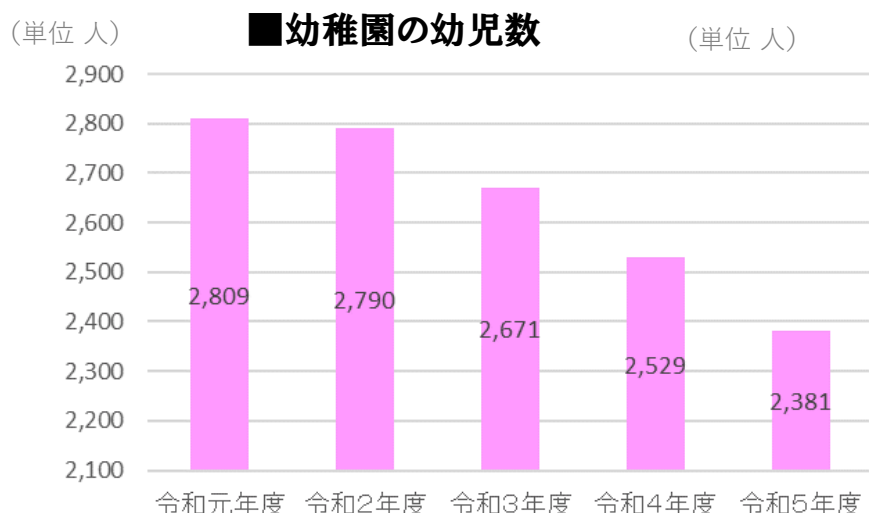
■ 厚木インター ■ 厚木南インター ■ 圏央厚木インター ■ 圏央厚木PAスマートインター

インターチェンジ月別利用状況(R2~5年) ※令和4年データなし



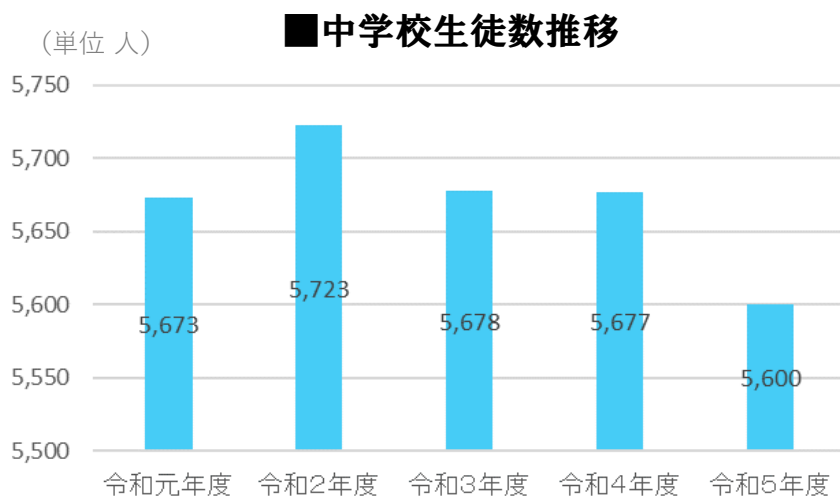
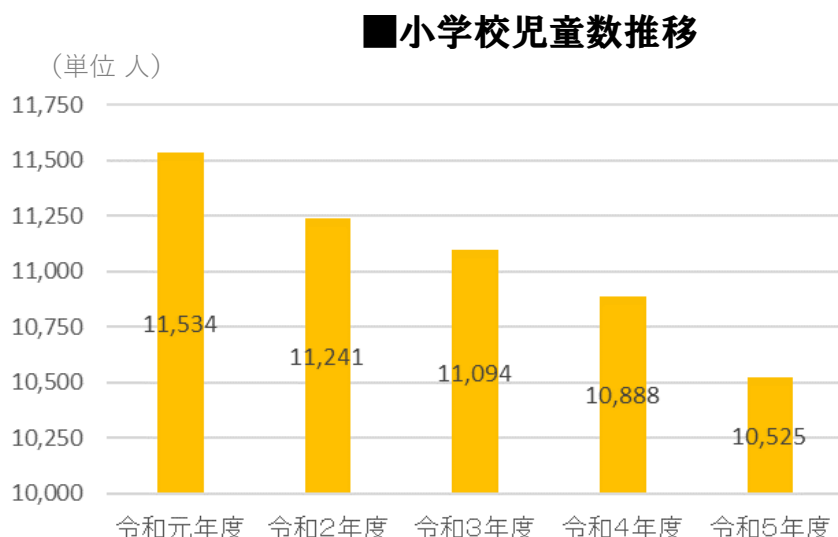
令和5年は令和2年、3年の利用状況と比較すると利用台数が全体的に多くなっています。

■幼稚園の幼児数(121)、小・中学校児童数(122・123)



少子化の影響などにより、幼稚園児数は減少傾向にあります。特に令和3年度以降は前年比で4～5%ずつ減少しており、減少傾向が顕著に現れています。

小学校児童数も幼稚園児数と同様に、減少傾向にあります。令和元年度から1%程度の減少が続いていましたが、令和5年度は3%超の減少率となり、減少傾向が顕著に現れています。



中学校生徒数は、令和2年度に関しては前年比で増加、令和3年度、4年度は、横ばいで推移していました。令和5年度も減少率は1.3%程度となっています。

■火災発生件数、交通事故発生件数

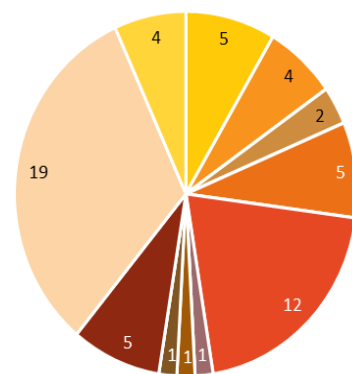
(単位 件)

火災発生件数



原因別火災発生件数

- たばこ
- たき火
- 火遊び
- コンロ
- 放火
- 放火の疑い
- 風呂・かまど
- ストープ
- マッチ・ライター
- 煙突・煙道
- 電灯電話等の配線



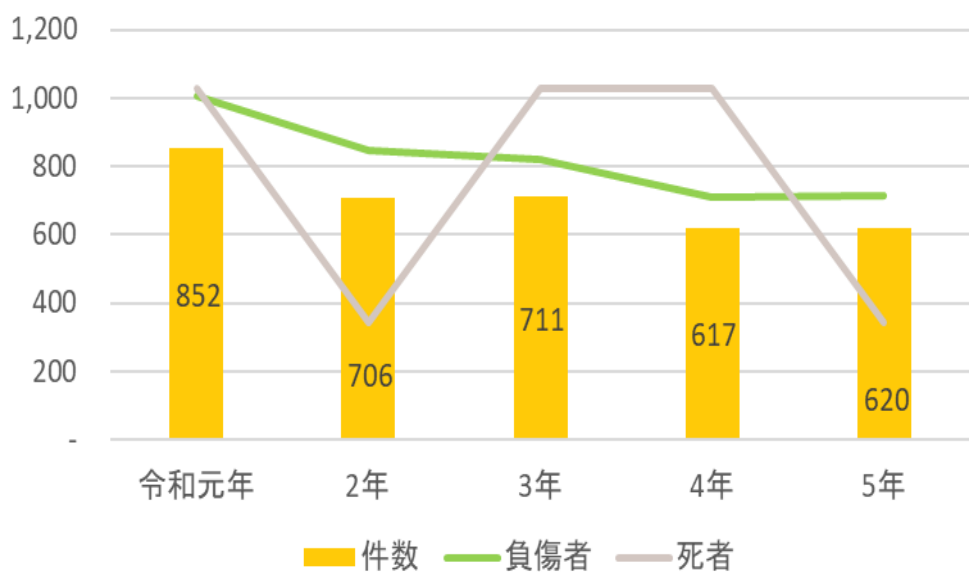
(単位 件)

令和5年の火災発生原因は放火が最多となりました。

負傷者数

交通事故発生状況

死者数

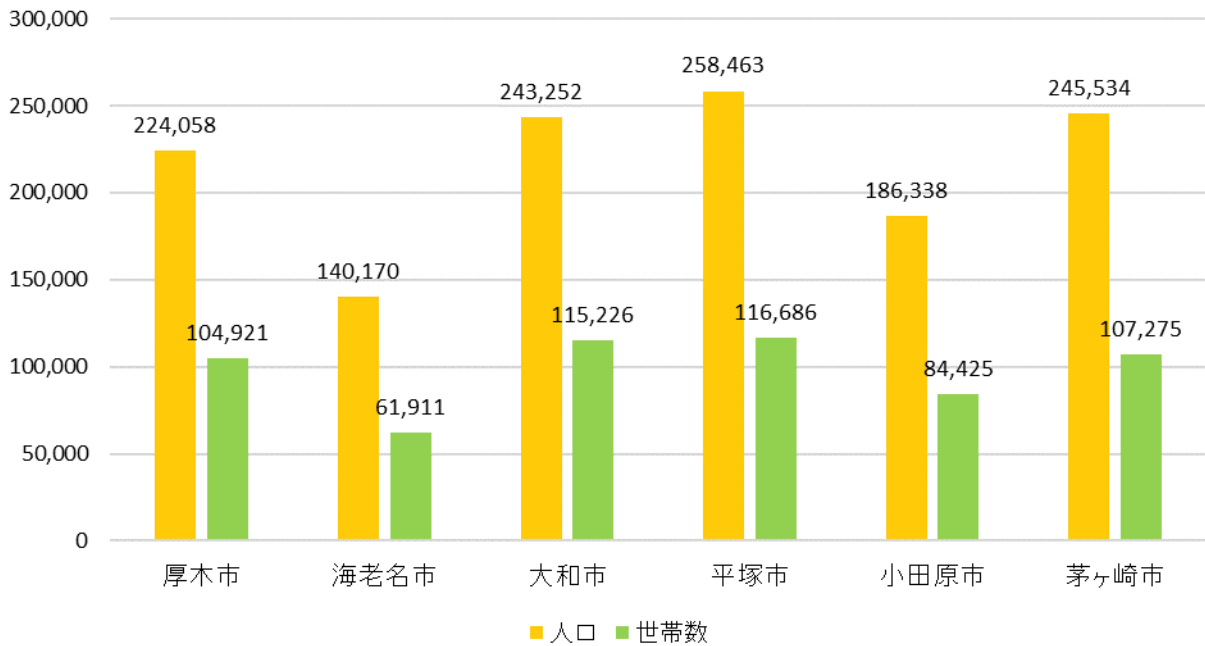


交通事故発生件数は令和元年から減少傾向でしたが、令和5年は微増となりました。

2 人口

■人口(9)

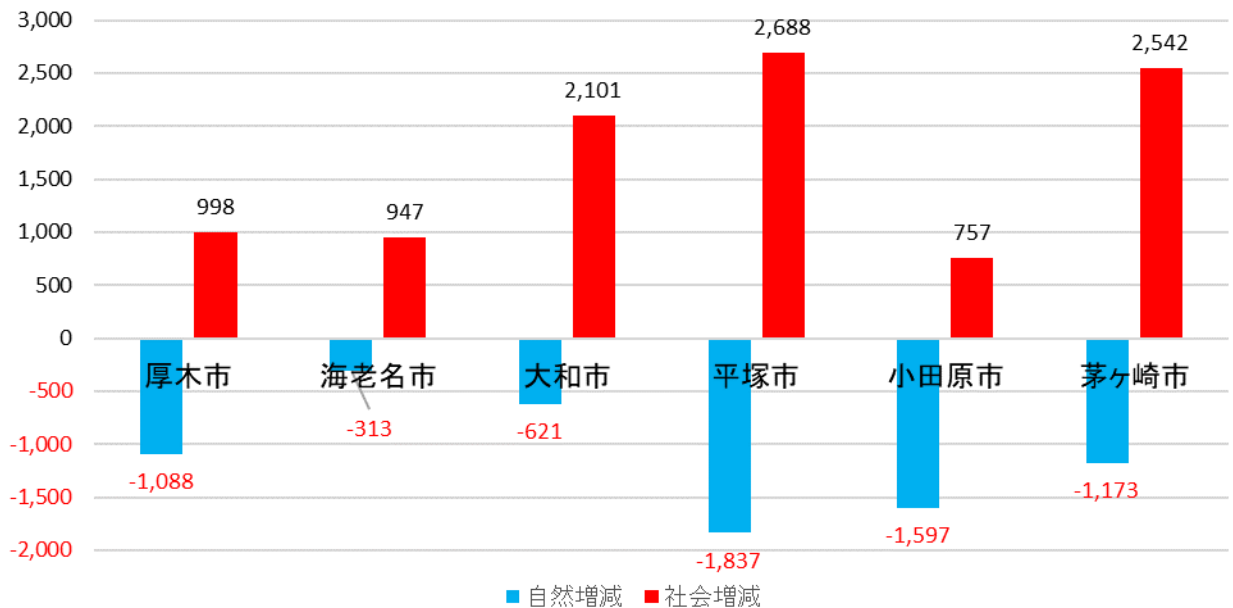
単位:人



厚木市と施行時特例市及び海老名市との人口及び世帯数の比較データです。

■人口動態(17)

単位:人

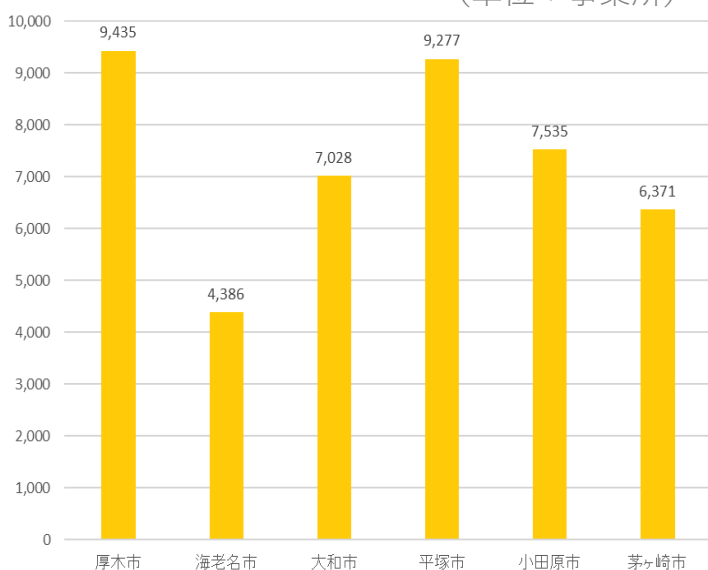


厚木市、小田原市は人口減少、海老名市、大和市、平塚市、茅ヶ崎市は人口増加となりました。その中でも大和市、茅ヶ崎市は社会増減数で大きく増加しました。

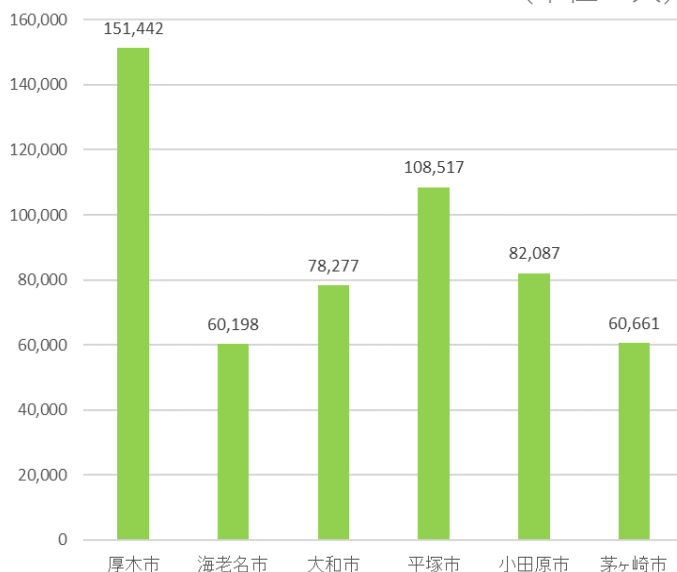
3 事業所と従業者

■事業所及び従業者数(29)

(単位：事業所)

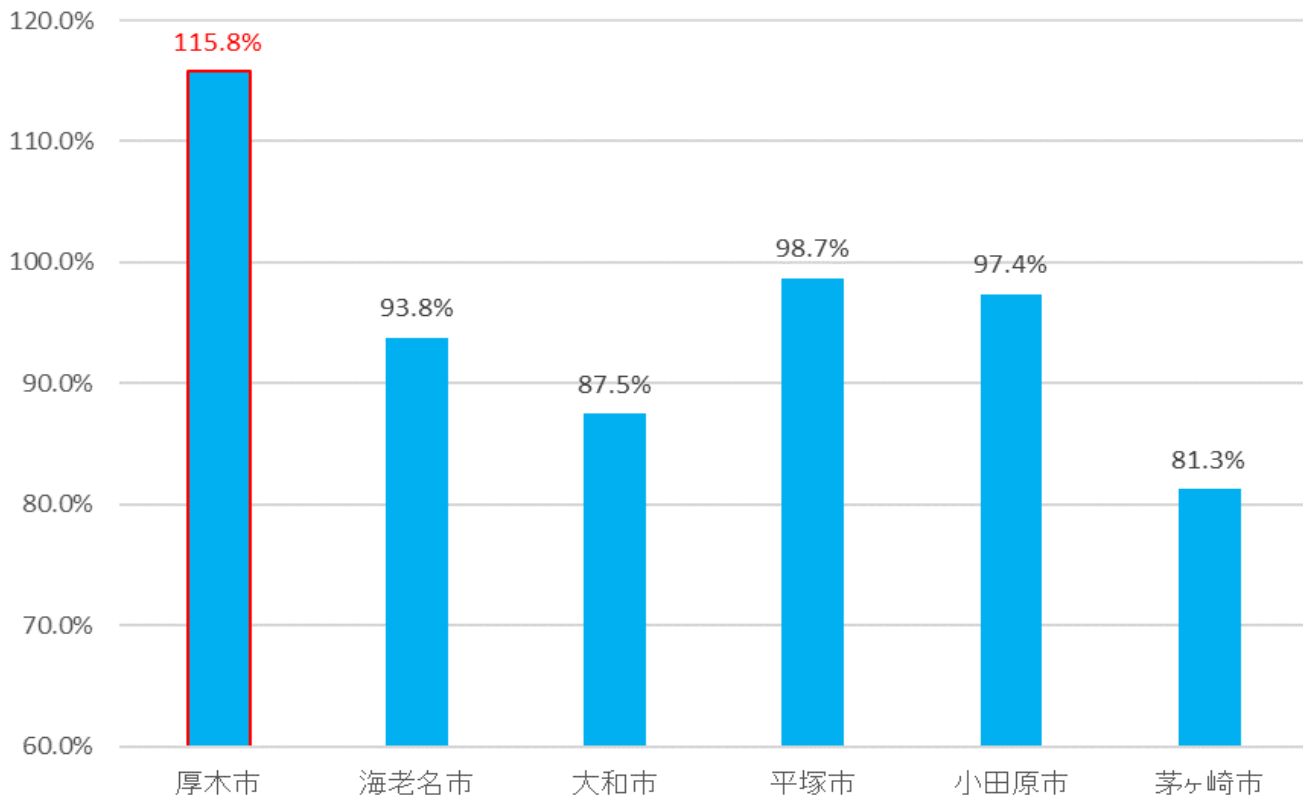


(単位：人)



厚木市の事業所、従業者数は施行時特例市及び海老名市の中で最多となっている。

■昼間人口(26)



厚木市の昼夜間人口比率は施行時特例市及び海老名市の中で最も高く、唯一100%を超えています。

グラフで見る統計あつぎ

—令和5年版—

令和6年4月 発行

令和6年4月 編集

発	行	厚 木 市
編	集	厚 木 市 総 務 部 行 政 総 務 課
		厚木市中町3丁目17番17号
		電 話 (046) 225-2180 (直通)
		F A X (046) 223-4058
		メールアドレス 0650@city.atsugi.kanagawa.jp
